

## <紹介> 島根県テニス協会:特別支援学級学童クラブ「ゆうゆう」との交流事業

- 1 日時 平成29年8月17日(火)10:30~11:30 ※今回は第2回として実施
- 2 会場 松江市立母衣小学校交流ルーム
- 3 参加者 31名 ・島根県テニス協会スタッフ 11名  
※スタッフのうち、4名はジュニア選手(小学生)  
・特別支援夏休み学童クラブ「ゆうゆう」 20名  
※児童15名(そのうち、OBの中学生2名参加)、スタッフ5人
- 4 内容 PLAY+STAYプログラム  
ボールに慣れよう→ラケットを使おう→ラリーに挑戦しよう

- ・児童の障がいの特性、程度に応じた場の工夫、教材教具の工夫がなされている。
- ・児童の実態に合わせて、テニス協会のスタッフを中心に個々に支援を行っている。



生き生きとした表情  
テニスの面白さ

体を動かすことの心地よさ  
基礎的な動きの獲得



ジュニア選手への事前指導



投げて的当て→打っての当て



打って網ラケットへ



網ラケットでボールすくい



ラリー

今年度はジュニアの選手もスタッフに加え、サポートする側に立つことで思いやりや感謝の心を育てたいと考え、取り組んでいます。ジュニアの選手たちが積極的に関わる姿を見ることができました。

テニス協会スタッフ

「ゆうゆう」の子どもたちは、テニスの面白さを直に感じています。いろいろな人に誉めてもらうとともに、年々上手くなってきていることで、自己肯定感や挑戦意欲も高まっています。

「ゆうゆう」スタッフ